

## 母へ

時間とは残酷なものだ  
何も告げずに流れていく

時間には生者の時間と死者の時間がある  
時にこの二つの時間は交差する

生者の時間は、刹那的である  
私たちは一年に必ず一つ歳を取るように  
同じ一年は二度とめぐってこない

死者の時間は、硬直している  
死者は死んだときの年齢のまま、変わらない  
死者にとって一年は、最期の一年のまま変わらない

生者は生者の時間と死者の時間  
その両方を生きることができない

こんなことはないだろうか  
自分にとって苦痛なことをやらされているとき  
時間の流れが止まってしまったように感じる  
その時間の間、私の眼は死んだような眼をしているだろうか

こんなことはないだろうか  
自分にとって楽しいことをしている、楽しい人と過ごしている  
時間はあつという間、刹那のうちにすぎる  
その時間の間、私の眼がいかにも生き生きしているか

死者は生者の時間を生きることが  
できるのだろうか

ああ、そうか私がこうしてあなたを思うことで  
瞬間的にあなたは生者の時間をかんでいるのだろうか